
私の見ていく宇宙(そら)～これから歩む路～

桜実保乃佳

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私(私)の見ていく宇宙そら〜これから歩む路〜

【Nコード】

N1510L

【作者名】

桜実保乃佳

【あらすじ】

いつも蘭は、新一と毎年、天体観測に行っていた

蘭の一人称です

わたしは毛利蘭って言います。
今は、結婚して工藤蘭です。
と言っても今日が結婚式

昔の話をしようと思います

昔、新一と山の上に天体観測に行っただんです

新一のお父さんに誘われて

しかも、止まる場所は新一のお父さんの別荘です!!

凄いですよね!!

まあ、話はここら辺で

天体観測って知ってる??

星 を見ることだよ!!

そこで私、思っただ…!!

この空って、何処まで続いているんだろう??

宇宙の地球ってどんな形してて、そんな風に見えるのになって。

「ねえ、新一!」

私は、横で星を見てる新一に話しかけた

「あんだよ、蘭??」

まさか、わからない星でもあるのか??

さき俺の父さんに教えてもらっただろう??」

にやけて聞く新一

「違うよ!!」

ねえ、新一、この宇宙そふって何処までづいてるのかなあ…。」

新一は少し悩んだ

「俺たちが死ぬときまであるんじゃないの。

だって、人間このすがたで宇宙そふ見えなくなる時は

俺たちが死んでるときだからな…。」

と最後にスマイルで答えてくれた

「そつだよね!!」

「後は、俺とオメーの幸せが消えるとき!!」

と新一は言った

「はい???」

私は目が点…

「その内分かるさ!!」

新一はそういつて望遠鏡に目を戻した

私は、分からなかった

でもね、やっと分かった…

今日で…

新一の言ってたコト、 幸せ っていう意味だったんだね！！

忘れないよ…

新一の言ったあの言葉…

いつ思い浮かべても胸の奥で消えてなくならない

あの言葉を…

私、今日から、幸せ隊の一員です

彼方は暖かい春を迎えるコトが出来ますか…

(後書き)

意味不明ですが…
駄目だしまってます!!

平成22年4/30 ソラノホシ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1510/>

私を見ていく宇宙(そら)～これから歩む路～

2010年10月15日20時13分発行